

TAC合格の秘訣編集部 編

合格者累積数13,667名

76%

平成15年度官報合格者占有率

合格の秘訣

税理士試験

戦略的学習法と合格体験記集

税理士受験の合格マニュアル 完全保存版

- これだけは知っておきたい!税理士試験の仕組み!
- 合格のシナリオ、税理士試験「虎の巻」
- 短期合格を可能にする戦略的学習法を伝授!
- 合格者が明かす成功の秘訣を一挙公開!
- 公開します!合格者の秘ノート&メモ



最新 税理士情報
プレゼント ハガキ付

2004年度版



TAC出版



Profile

寺西 雅行(てらにし まさゆき)

- 1962年7月20日生まれ、大阪府出身
- 1985年:同志社大学商学部卒業、食品メーカーに勤務。
同年8月12日におきた日本航空123便の事故により、双子の弟を失い、大阪の実家へ戻る。その後、会計事務所勤務。
1991年:税理士試験合格。
1995年:独立開業。現在、なんば総合会計事務所所長、相続レスキューネット®主宰、相続アドバイザー協議会顧問。登録商標:「相続レスキューネット」「相続119番」「相続SOS」「シャブ君」
- 著書 「～相続専門の税理士がスバリ教える!～相続119番(すばる舎刊)」「税理士向けビデオ「相続税還付の新実務」(シリーズ総研)」

なんば総合会計事務所代表

税理士・行政書士

寺西 雅行 先生

「納税義務の適正な実現」を図るため、相続税の減額・還付に取り組む。

不動産にもキズやひび割れがあり、それで価値が変わってくることをご存知だろうか。不動産のキズやひび割れというのは、例えば不整地やがけ地や無道路だったり、都市計画道路予定地であったり、振動・騒音の酷い環境や水道・ガスが未整備だったりするように、条件が良くない場合や規制がかけられた土地のケースである。不動産を相続する際、これらのキズやひび割れに気づかず間違った評価をしてしまえば、不動産は資産の中で高額

なだけに相続人はたいへんな損失を被りかからない。

そのために設けられている基準が、相続税財産評価である。税務署は「価額に影響を及ぼす全ての事情を考慮する」という柔軟な姿勢で、不動産のキズや事情について聞く耳を持っていてるのである。相続税申告は、もともと自主申告制度なので、不動産の評価を誤ってしまわないように、通常相続人はプロと思って税理士に依頼する。つまり、担当税理士が土地評価を適正に評価できるか否か、その手腕に係っているのが不動産の相続と言える。

●自分が納税して実務家を志す

同志社大学付属の中学校から高校、そして同志社大学商学部へと進学した寺西氏は、「商学部とは名ばかりでラクシヨウ学部あるいは陸上競技部でした（笑）」と語る。高校2年で3段跳び日本ジュニアオリンピック4位を獲得し、大学でも関西上位の実力の持ち主である寺西氏は、資格などまったく考えたくもなく、ひたすら陸上競技に明け暮れていたのである。

さて、人の一生は、偶然の連続である。もしも、あの時……の積み重ねともいえる。

1985年8月12日、日本航空123便に乗っていたら……税理士・寺西雅行は誕生しなかった。寺西氏には、双子の弟があった。大学卒業後、寺西氏は食品メーカーへ、弟は横浜国立大学を出て人材会社へ入社し、ともに東京勤務になった。1985年夏、大阪へ